

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけて書いたり、目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書いたりすることが全国平均を大きく上回る高い正答率でした。これは、普段の授業の中で要旨をまとめる活動をしたり字数制限をして感想を書いたりする活動を継続的に行ってきた成果の表れだと思われま

す。算数では、複数の図形を組み合わせた図形の面積について量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べる問題について、全国平均を上回る正答率でした。本校では習熟度別指導や少人数指導といった児童一人一人のつまづきや発想に応じた指導を継続して行った成果であると思われま

課題と対応

算数では、図形を構成する要素などに着目し、面積の答えを記述する問題で正答率が低く課題が見られました。そこで、算数のみならず他教科でも自分の考えを話したり、まとめたりする時間を意図的に授業に取り入れ、学習内容の定着を図っていきたいと考えています。

質問紙調査の結果からは、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対し、「よくしている」「ときどきしている」と回答した児童が、全国平均と比較しても低いことが分かりました。そこで、家庭学習の手引きを参考にしながら、どんなことをすればよいのかを具体的に指導したり、取り組んだ児童を称揚したりすることで、児童が主体的に取り組めるようにしていきたいと考えま

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果から、地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたりする児童が多いことが分かりました。これは、地域の方々が放課後や夏季休業中の学習支援などを行ってくださっている結果だと思われま

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	共通点や相違点に着目して考えをまとめることができる。
	社会	スーパーマーケットの販売の工夫について理解している。
	算数	道のりを様々な単位を使って表すことができる。
	理科	花の咲いていないキャベツ畑に成虫が来る理由を説明することができる。
	学習状況	学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできる。
第5学年	国語	聞き手に分かりやすい話し方の工夫を考えることができる。
	社会	中国山地の位置と名称を理解している。
	算数	商とあまりを理解し、説明することができる。
	理科	天気による気温の変化と日常生活を関連付けて考えることができる。
	学習状況	授業の中で、自分の考えを発表することができる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	説明文の内容を正しく読み取ることに課題がある。	算数では、基礎的な計算でつまづいているので、今後、朝学習や授業の初めに計算練習をしたり、現在行っている習熟度別の指導を丁寧に行ったりすることで、一人一人の基礎学力を定着させていきたい。 理科では、普段から身近に起こる現象について興味をもたせたり、実験の際には観察結果だけでなく、その理由も考えさせたりしながら、知識の定着を図りたい。 学習状況については、普段のゲーム等に接する時間が長時間傾向にあるので、児童自らがメディアの時間をコントロールできるように保護者と協力しながら改善していきたい。
	社会	地図から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	基礎的な計算問題を解くことに課題がある。	
	理科	既習事項や実験結果をもとに、影の位置を推測することに課題がある。	
	学習状況	1日当たりのゲームやインターネットをする時間が長い傾向が見られる。	
第5学年	国語	物語の内容を読み取り、登場人物の気持ちを読み取ることに課題がある。	国語では、内容を読み取ることに課題があるので、授業の中で初発の感想や書かれている内容を要約する練習を行い、キーワードをおさえられるようにしていきたい。 社会では、示された資料から必要な情報を読み取ることに課題があるので、普段の授業から情報を読み取るための手順を一つずつ段階を踏みながら確認させ、資料活用力の定着を図っていく。 学習状況については、家庭学習をする人としていない人の二極化傾向にあり、学年相応の時間数学習ができていない児童が多いので、「家庭学習の手引き」の利活用状況を確認しながら、底上げを図っていきたい。
	社会	資料から問われていることを読み取ることに課題がある。	
	算数	変化のきまり等を表を活用して数を求めることに課題がある。	
	理科	実験結果からその現象が起こることを推測することに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

各学年に配付している「家庭学習の手引き」の活用や「メディアコントロール・チャレンジ」の取組については、保護者の皆様の協力を得ながら、取組を進めています。児童のやる気も上がり、自己肯定感の向上にもつながりますので、引き続きご協力をお願い致します。また、地域の方々には、児童の基礎学力の向上のため、夏休みの「桃キラ教室」や放課後の「ももっこ教室」そして今年度からは土曜自主学習会などの活動を積極的に行っていただいています。今後もご協力をお願い致します。